

平成 15 年 3 月期 第 3 四半期連結業績概況

平成 15 年 1 月 31 日

上場会社名 日本ユニシス株式会社

上場取引所 東証第 1 部

コード番号 8056

本店所在都道府県

(URL <http://www.unisys.co.jp>)

東京都

問合せ先 責任者役職名 コーポレートコミュニケーション部長

氏 名 龍岡 慎一

TEL (03)5546-4111

1. 四半期連結決算に係る事項

- (1) 四半期連結業績の公表は、当第 3 四半期より開始いたしましたので、前年同期の数値については、業績比較の参考として集計した数値を掲載しております。
- (2) 当第 3 四半期の数値および前年同期の数値については、監査法人による監査を受けておりません。
- (3) 当第 3 四半期の連結子会社数 16 社 (前期 15 社)

2. 当社グループの四半期業績の特性

- (1) 一括請負型システム開発の売上計上基準は検収基準を採用しており、第 2 四半期および第 4 四半期に検収が集中することから、この時期に売上および利益計上が集中いたします。
- (2) ハードウェア販売は、第 2 四半期および第 4 四半期に出荷が集中することから、この時期に売上および利益計上が集中いたします。
この四半期ごとの業績変動の特性は、当期に発生した特殊事象ではなく、当社グループを取り巻く従来からの業界的傾向であります。

3. 平成 15 年 3 月期第 3 四半期の連結業績(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15 年 3 月期第 3 四半期	193,017	399	545	4,468
(参考)14 年 3 月期第 3 四半期	183,620	6,666	6,168	4,033
14 年 3 月期	307,898	4,686	5,692	7,831

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15 年 3 月期第 3 四半期	40.74	-
(参考)14 年 3 月期第 3 四半期	36.78	-
14 年 3 月期	71.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15 年 3 月期第 3 四半期	196,127	87,826	44.8	800.89
14 年 3 月期	257,608	85,062	33.0	775.68

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15 年 3 月期第 3 四半期	12,638	18,685	10,071	23,799
(参考)14 年 3 月期第 3 四半期	8,191	13,401	515	29,198
14 年 3 月期	21,591	19,747	3,085	39,853

4. 平成 15 年 3 月期の連結業績予想(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	310,000	8,500	8,200	74.77

(第3四半期連結業績に関する定性的情報等)

(1) 概況

当第3四半期の経済動向は、長引く不況からの脱却の兆しを見出すことができず、企業の設備投資も依然冷え込んだ状況が続いており、各企業のIT化への投資も抑制・先送りされている状況にあります。

このような環境の中、当グループは、引き続き顧客企業の競争力強化に向けた価値創造提案に努め、各分野においてシステム構築案件は堅調に推移いたしました。また、情報システムのアウトソーシング・ニーズの高まりを受け、アウトソーシング・ビジネスは、金融機関向けを主力として、サービス、製造、流通業向けなど多様な顧客層に拡がりを見せております。さらに、ユニアデックス(株)におけるサポート・サービスやネットワーク・インテグレーションも順調な伸びを示しております。

当グループといたしましては、これらのサービス・ビジネスを今後の収益の柱として、業績の拡大を図るべく、本年1月に来年度の経営基本方針となる「Re-Enterprising2003」を策定いたしました。この経営方針に基づき、グループ戦略を一層強化し、各グループ企業間の機能集約による効率化や専門性向上/競争力強化を図ることにより、グループ全体としての総合力を最大化し、“ITサービスのリーディングカンパニー”を目指すものであります。

当第3四半期の新たなビジネス展開といたしましては、セイコーインスツルメンツ(株)と共同でネットワーク・セキュリティ・アプライアンス製品「TrustGate™」を開発し、セキュリティ分野の強化を図っております。

さらに、情報戦略立案などのコンサルティング・ビジネスの強化に向け、ITコンサルティングサービス「LUCINA®」を発表したほか、コンテンツ配信ビジネス向けなどのブロードバンド・ソリューションの提供や、ビジネス・アグリゲーション事業など、新たなサービス分野でのビジネス展開を進めてまいりました。

一方、ハードウェアにつきましては、ES7000シリーズのラインアップ拡充を図り、「SAP on ES7000」といった適用分野の開拓にも注力してまいりました。

(2) 経営成績

当第3四半期累計の連結業績につきましては、システムサービスやアウトソーシングなどサービス・ビジネスを中心に、売上高は前年同期比5.1%増の1,930億17百万円となりました。

利益面では、当第1四半期に認可を受けた厚生年金基金の代行部分返上による退職給付費用の減少等もあり、営業利益は前年同期比70億65百万円増加の3億99百万円、経常利益は前年同期比67億14百万円増加の5億45百万円とそれぞれ回復いたしました。また、当期純利益も前年同期比85億1百万円増加の44億68百万円となりました。

(3) 財政状態

当第3四半期末の現金及び現金同等物につきましては、前期末に比べ160億53百万円減少の237億99百万円となりました。

営業活動により得られた資金につきましては、税金等調整前当期純利益を82億57百万円計上したこと等により、前年同期比44億46百万円増加の126億38百万円となりました。投資活動により支出した資金につきましては、主に営業用コンピュータ等の有形固定資産を136億99百万円取得したこと等により、前年同期比52億84百万円増加の186億85百万円となりました。財務活動による資金につきましては、社債償還による100億円の支出等により、前年同期比95億55百万円増加の100億71百万円の支出となりました。

(4) 業績予想

平成15年3月期の業績見通しは、IT投資の抑制・先送りの傾向により、売上高は中間時見通しを40億円下回る3,100億円、また、売上高の減額に伴い営業利益および経常利益はそれぞれ15億円減少の85億円、当期純利益は14億円減少の82億円を見込んでおります。(期首公表の当期純利益予想58億円に対しては、24億円増加の見込み。)

なお、上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

5. 要約連結財務諸表等

要約連結損益計算書

	平成15年3月期 第3四半期 (14/4～14/12)	(参考) 平成14年3月期 第3四半期 (13/4～13/12)	比較増減()	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	193,017	183,620	9,397	5.1
売上原価	141,804	133,198	8,605	6.5
売上総利益	51,213	50,421	791	1.6
販売費及び一般管理費	50,813	57,087	6,273	11.0
営業利益(は損失)	399	6,666	7,065	-
営業外収益				
受取利息及び受取配当金	115	269	153	
その他	800	1,045	244	
営業外費用				
支払利息及び社債利息	698	789	90	
その他	70	27	43	
経常利益(は損失)	545	6,168	6,714	-
特別利益				
厚生年金基金				
代行部分返上差額	7,798	-	7,798	
その他	69	145	76	
特別損失	156	309	153	
税金等調整前				
当期純利益(は損失)	8,257	6,332	14,589	-
法人税等	3,712	2,376	6,088	
少数株主利益	76	77	0	
当期純利益(は損失)	4,468	4,033	8,501	-

(注)平成14年3月期第3四半期数値については、業績比較の参考として集計した数値を掲載しております。

要約連結貸借対照表

	平成15年3月期 第3四半期末 (平成14年12月末)	平成14年3月期 前期末 (平成14年3月末)	比較増減()
	百万円	百万円	百万円
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	17,815	34,901	17,085
受取手形及び売掛金	32,656	85,384	52,727
たな卸資産	30,726	22,009	8,717
その他	30,321	24,678	5,643
流動資産計	111,521	166,972	55,451
固定資産			
有形固定資産	39,655	37,822	1,832
無形固定資産	14,427	13,948	479
投資その他の資産			
投資有価証券	7,852	9,623	1,770
繰延税金資産	8,856	13,489	4,633
その他	13,814	15,752	1,937
投資その他の資産計	30,523	38,864	8,341
固定資産計	84,606	90,635	6,029
資産合計	196,127	257,608	61,480
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	23,290	41,093	17,802
短期借入金及び 長期借入金(1年以内)	16,239	18,378	2,139
社債(1年以内)	-	10,000	10,000
その他	32,702	54,834	22,131
流動負債計	72,232	124,305	52,073
固定負債			
長期借入金	23,532	25,674	2,142
退職給付引当金	4,542	14,236	9,694
その他	6,449	6,905	456
固定負債計	34,523	46,816	12,292
負債合計	106,755	171,122	64,366
少数株主持分	1,545	1,423	122
(資本の部)			
資本金	5,483	5,483	-
資本剰余金(資本準備金)	15,281	15,281	-
利益剰余金(連結剰余金)	66,606	63,006	3,600
その他有価証券評価差額金	457	1,292	834
自己株式	2	0	2
資本合計	87,826	85,062	2,763
負債、少数株主持分 及び資本合計	196,127	257,608	61,480

6. 受注及び販売の状況

(1)受注の状況

区分	受注高	受注残
	百万円	百万円
サービス	119,128	97,880
ソフトウェア	27,433	28,939
ハードウェア	60,275	35,568
合計	206,837	162,389

(注)受注残高については、1年以内販売予定の残高を記載しております。

受注高および受注残については、前年同期の集計数値がないため、前年同期比を記載しておりません。

(2)販売実績

区分	金額		前年同期比
	金額	構成比	
	百万円	%	%
サービス	111,746	57.9%	+12.0%
ソフトウェア	30,826	16.0%	10.2%
ハードウェア	50,443	26.1%	+1.9%
合計	193,017	100.0%	+5.1%